

天使が通ると、  
恋が芽ばえる。

# 愛のタチアナ

TAKE CARE OF YOUR SCARE, TATJANA

1994年カンヌ国際映画祭監督週間出品

1994年京都国際映画祭インターナショナル・コンペティション出品

アキ・カウリスマキ監督作品

製作・編集 ■ アキ・カウリスマキ 脚本 ■ アキ・カウリスマキ / サック・ヤルヴェンパー

撮影 ■ ティモ・サルミネン 録音 ■ ヨウコ・ルツメ 衣装 ■ トゥーラ・ヒルカモ

セット・デザイン ■ カリ・ライネ / マルク・ベティレ / ユッカ・サルミ

出演 ■ カティ・オウティネン / マッティ・ペロンパー / キルシ・テュッキユライネン / マト・ヴァルトネン

1994年 / フィンランド / モノクロ / ビスタサイズ / 62分 / 配給: シネセゾン・パルコ / 後援:  FINNAIR

提供: シネセゾン・パルコ・アミューズ ©SPUTNIK OY





# 愛のタチアナ

TAKE CARE OF YOUR SCARF, TATJANA



名もなく、食しく、美しくもなく?!それでも人生いとおしい。  
 はにかんだまなざしの中にゆっくりと生まれていく愛の物語。

熱烈なファンの声援を受けて、準・巨匠カウリスマキが贈るどんなでもない傑作!

『パルプ・フィクション』のクエンティン・タランティーノ監督が、しゃべりまくりで笑わせる脚本なら、アキ・カウリスマキ監督のそれは、極端なまでに口数の少ない人間が笑わせる物語だ。前者の主人公がやみくもにハイ・テンションなのに対して、後者はやる気があるんだかないんだか分からない。なんだか彼らの回りの空気だけ動きがない、という感じがする。なにしろ人と向かい合っている、会話と

いうものがほとんどないのだから。ところが、カウリスマキ作品の主人公が無感情なのかというと、そうではない。ただ不器用なのだ。無口ながらも考えていることは突拍子もなく大胆で、行動は常に唐突だ。ジーツと長いタメが入って、いきなりアクション。それも説明なしで。このぶっさらぼうなやり口に、カウリスマキのテレを感じる。なんでもスマートにやれる人間のほうが、彼にとっては気恥ずかしいのだろう。いや、むしろカッコ悪いと思っているに違いない。



例えば、この『愛しのタチアナ』に出てくる自動車修理工のレイノはどうだ。どこから見てもサエないおっさんなのに、なんと本人はロックン・ローラーのつもりなのだ。「おやじ、どこがロックなんだよー」とツッコミを入れたくなるが、ものすごいシルエットのベルボトム・パンツをはかれた日には、もう許す。なににでもなってくれという気がしてくる。カン違いがお見事過ぎて、思わず殴ってやりたいほどの、いとおしさだ。こういったチグハグなおかしさを、カウリスマキは対人関係でも用いる。コーヒー中毒で仕立て屋のヴァルトと旅に出たレイノ（こちらはウォッカ中毒だが注目すべきはボトルのフタを開ける時のヒジ打ちアクションと、その一気飲みだ）は、旅の途中で二人の女性と出会う。これまた絵に描いたようにサエない女たちなのだが、それにしても二組のカップルになったというのに何事も起こらないのだ。四人はひたすら黙り込んでいるばかり。だが、沈黙のなかで彼らは確かに心を通い合わせていた。やがて、並んで座ったレイノとエストニア人のタチアナが、ぎこちなく



各国の映画祭に出品される度に絶賛の声で迎えられ、コスモポリタンな映画作家としての評価が高まりつつあるアキ・カウリスマキ。最新作『愛しのタチアナ』は、カウリスマキが映画の放浪の末に故郷フィンランドに帰還した第二の処女作。時代は1960年代、ロックンロール全盛期のフィンランドを舞台に、しみじみするような温かみ、ふっとため息のようなユーモアがこぼれるリリカルで愛すべき小品だ。

イラスト・文 石川三千花

## 95年1月下旬と正月第2弾ロードショー! CINE VIVANT

特別鑑賞券1,400円絶賛発売中

(当日一般1,700円・学生1,400円<税込>) 特別鑑賞券は劇場窓口、都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあにてお求めください。

フィンランド往復航空券が当たるクイズ実施中!

クイズにお答えいただいた方の中から抽選で「ペア3組」にフィンランド往復航空券をプレゼント! クイズのお答えと、住所、氏名、年齢、ご職業、電話番号を官製ハガキにお書きの上、下記の住所までご応募ください。●クイズ: シネ・ヴィヴァン・六本木で95年1月下旬から上映される映画のタイトルをお答え下さい。●あて先: 〒1104東京都中央区京橋1-6-13アサコ京橋ビル シネセゾン「愛しのタチアナ」クイズ係まで。●応募期間は「愛しのタチアナ」公開中

シネ・ヴィヴァン・六本木  
 地下鉄六本木駅1番出口WAVE地下1階 ☎03(3403)6061

曜日	12:30	2:10	3:50	5:30	7:10
----	-------	------	------	------	------

- 自由席定員制・入替制
- 毎月曜夜7:10の回のみ日本語・英語字幕付上映
- Every monday from 7:10PM print with English subtitles